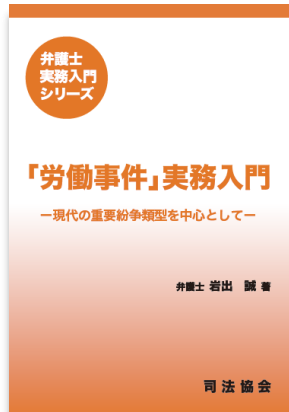


「労働事件」実務入門—現代の重要紛争類型を中心として—



著者 : 弁護士 岩出 誠 著
 定価 : 3,850 円(本体 3,500 円+税 10%)
 判型 : A5 判
 ページ数 : 402 ページ
 ISBN : 978-4-906929-92-4
 発行 : 2022 年 2 月

内容

長年労働事件弁護に携わり、労働関係書籍を多数執筆している著者が、それらの経験を踏まえて、弁護士実務経験の少ない若手弁護士等を対象に、手軽に携帯でき、指南書となる入門書を執筆。

本書では、膨大な労働法の紛争類型の中から、若手弁護士が出会うであろう最もホットなテーマとして、労働法の適用をめぐる紛争、非正規労働者に関する紛争、割増賃金請求紛争、私傷病休職をめぐる紛争、ハラスメントをめぐる紛争、労災をめぐる紛争(過労死・過労自殺を中心として)、懲戒処分を巡る紛争、退職・解雇等をめぐる紛争に絞って、紛争類型毎の概要と留意点を解説した上で、これらの個別労働関係紛争の解決システムの選択と各手続き利用上の留意点を分かり易く解説しています。

①労働事件の相談を受けた時に、確認すべき事項、調査すべき事項やその留意点等、②受任後、準備を行う段階で、確認・調査すべき事項、対応すべき事項等やその留意点等の弁護士実務のノウハウにも言及しており、関係判例も多数紹介しています。若手弁護士はもとより人事・労務・法務担当者、司法書士、社会保険労務士等の労働法に携わる実務家の方々にも、実務的かつ理論的な労働事件実務書として貴重な1冊です。

目次

| | | |
|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| I 章 労働関係の法律相談から受任における証拠収集上の留意点 | 第5 変形労働時間制 | VIII 章 懲戒処分をめぐる紛争 |
| 第1 法律相談における注意点 | 第6 フレックスタイム制 | 第1 懲戒 |
| 第2 労働事件における証拠収集での留意点 | 第7 みなし労働時間制 | IX 章 退職・解雇等をめぐる紛争 |
| II 章 労働法の適用をめぐる紛争 | 第8 裁量労働制 | 第1 解雇以外の終了事由 |
| 第1 労働者概念 | 第9 労働時間規制の適用除外 | 第2 解雇 |
| 第2 事業場と使用者 | V 章 私傷病休職をめぐる紛争 | 第3 整理解雇・雇用調整への法規整 |
| III 章 非正規労働者に関する紛争 | 第1 休職制度の概要 | 第4 解雇無効の効果 |
| 第1 有期労働契約 | 第2 私傷病休職制度をめぐる諸問題 | 第5 雇用関係終了に伴う法規制 |
| 第2 パート有期法 | VI 章 ハラスメントをめぐる紛争 | X 章 個別労働関係紛争の解決システム |
| 第3 派遣労働者・事業場内下請労働者等 | 第1 ハラスメント総論 | 第1 個別労働関係紛争の裁判外の紛争調整機関等 |
| IV 章 割増賃金請求紛争 | 第2 パワハラに関する法的規整 | 第2 労働審判 |
| 第1 労働時間法制の概観 | 第3 セクハラに関する法的規整 | 第3 労働審判と他の手続との選択基準 |
| 第2 休憩 | 第4 マタハラ、ケアハラに関する紛争 | 事項索引 |
| 第3 週休制の原則 | VII 章 労災をめぐる紛争—過労死・過労自殺を中心として | 判例索引 |
| 第4 時間外・休日労働・深夜労働と割増賃金 | 第1 過労死・過労自殺等の労災認定 | |
| | 第2 労災民事賠償事件(労災民訴) | |